

# 千代田区

リチウムイオン電池等によるトラブル防止に関する報告

# 小型充電式電池類の回収

平成31年(2019年)1月発行

## 千代田区 資源とごみの分け方・出し方

**平成31年(2019年)4月から  
蛍光灯等の出し方が変わります。**

千代田区では、蛍光灯等を、埋立処分から資源化処理に変更します。  
このため「燃やさないごみ」を「燃やさないごみ」と「蛍光灯等」に区分します。

区分	燃やさないごみ	蛍光灯等
品目	陶磁器、ガラス製品、金属等	蛍光灯、電池、カセットボンベ・スプレー缶、ライター、水銀体温計等

詳しくは、7頁をご覧ください。

家庭から出す粗大ごみは粗大ごみ受付センターへ  
TEL 5296-7000  
月曜～土曜日：8時～19時  
※日曜日、12月29日～1月3日は休み

事業所・店舗の区による資源・ごみ収集は全て有料です。  
出し方はこちら  
※粗大ごみは区では収集しません。

千代田区ごみ分別アプリ  
**分けちよ!** 配信中!

右記QRコードからダウンロードし、ごみの分別にご活用ください。  
「累計ダウンロード数12,000DL突破！」

お問い合わせ 千代田清掃事務所 ☎ 3251-0566 発行日:日曜日と12月31日から1月3日

東京都と市区町村は、2020年3月末で、水銀含有製品の埋立処分を取りやめることで合意。

千代田区はその1年前の2019年4月から、従来は「燃やさないごみ」として埋立処分していた蛍光灯を、あらたに「蛍光灯等」の分類を新設し、資源化処理を開始。あわせて、清掃車両の火災の原因となるスプレー缶・ライター、小型充電式電池を含む電池類についても、同じ日に回収し、資源化処理とした。

# 蛍光管・電池類の分け方・回収方法

## 燃やさないごみ(不燃ごみ)月2回

収集日当日の朝10時(一部地域を除く)までに出してください。前日出しはやめてください。  
 ○ 一辺が30cm以上のものは、「粗大ごみ」です。

<b>金属・刃物類</b> なべ、やかん、傘、針金ハンガー、アルミホイル、使い捨てカイロ、一斗缶など。	<b>陶磁器・ガラス・電球</b> 茶碗、湯呑み、コップなど。
<b>小型家電製品</b> 回収ボックスでも回収しています。(p16-17参照) 一辺が30cm以上の物は、「粗大ごみ」(p12参照)	<b>その他</b> 王冠、化粧品・薬品のびんなど。

注) 小型家電回収ボックスは、事業者の方のご利用はできません。(p16-17参照)

---

## 蛍光管等 月2回

収集日当日の昼12時30分(一部地域を除く)までに出してください。前日出しはやめてください。  
 回収品目は、**蛍光管、電池、水銀体温計(水銀血圧計含む)、カセットボンベ・スプレー缶、ライター**  
**蛍光管は割れ飛散防止のため、空き箱か新聞紙に包んで出してください。**

- ・出すときは、「キケン」と書いて出してください。
- ・割れてしまった蛍光管についても別袋に入れて出してください。

注) ボンベは穴をあけないでください。

※ライター、カセットボンベ等は清掃車の火災の原因となります。水銀体温計は空気に水銀が放出される恐れがありますので、必ず別袋に入れ、キケンの表示を出してください。

### 電池の区分と出し方

名称	主な種類	出し方
マンガン乾電池		蛍光管等回収日に出すか、ストックヤード(P16-17)に出してください。
アルカリ乾電池	単一～単四型電池などの電池	
リチウム一次電池		
コイン型リチウム電池	薄型で型番がCRまたはBR	
小型充電式電池 (ニカド・ニッケル水素・リチウムイオン電池)	リサイクルマークがついている	蛍光管等回収日
ボタン電池	アルカリボタン電池、酸化銀電池等	蛍光管等回収日か、リサイクル協力店。 ( <a href="http://www.baj.or.jp">http://www.baj.or.jp</a> で調べられます。)

回収区分	平成31年3月まで	平成31年4月より	回収車両
燃やさないごみ	金属、陶磁器、ガラス、蛍光管、スプレー缶、電池類など	金属、陶磁器、ガラスなど	小型プレス車
蛍光管等	—	蛍光管、スプレー缶、電池類(小型充電式電池も含む)	軽小型貨物車 (蛍光管などの割れ防止のため)

# 年度別電池類回収量 (Kg)

年度	一次電池	小型充電式電池
平成29年度	3,433	—
平成30年度	4,347	108
令和元年度	15,904	371
令和2年度	16,390	504
令和3年度	14,968	417
令和4年度	14,771	391

千代田区の電池類資源化事業者(令和5年7月現在)

一次電池類 : 野村興産

小型充電式電池: JBRC

平成30年9月にリサイクル協力者[回収拠点]に登録、平成30年11月に一般廃棄物広域認定[回収拠点]に変更登録



# 軽小型貨物車の回収状況



軽小型貨物車で回収



荷台に種類ごとの箱に入れる



回収した電池類



回収した蛍光管

# 車両火災発生状況

年度	発生件数（火災の原因）
平成27年度	1件（スプレー缶）
平成28年度	1件（スプレー缶）
平成29年度	3件（モバイルバッテリー1件、不明2件）
平成30年度	1件（スプレー缶）
令和元年度	0件
令和2年度	0件
令和3年度	0件
令和4年度	0件

令和元年度より、スプレー缶・小型充電式電池の別回収を始めたことで、それまで年1件くらい発生していた車両火災がおこらなくなった。